

アイホール

伊丹市伊丹2-4-1  
TEL: 0727-82-2000

●提携公演  
クロムモリブデン  
「カラビナーダ-雪22市街戦ナウ」

劇場を揺るがす轟音、メタリックな美術などで定評の高い、異色劇団。あなたをナンセンスな戦場へと誘います。

1月21日(金) 19:30  
22日(土)  
14:00/19:30  
23日(日)  
13:00/17:00  
2300円(2500円)



●「AI・HALL SHOW CASE」

演劇ファクトリーと劇作家を養成する伊丹想流私塾。この両講座の卒業生を中心とした創作劇の試演会を実施します。ここから「演劇の未来」を担う劇団が生まれるかも…?乞うご期待。

1月29日(土) 19:00  
30日(日) 15:00

ラストホール

伊丹市南野2-3-25  
TEL: 0727-81-8877

●松野明美講演会  
「わたしのアスリート人生  
～走りぬいて～」

いよいよ今年は4年に1度のオリン

伊丹アイフォニックホール

伊丹市宮ノ前1-3-30  
TEL: 0727-80-2110

●伊丹シティフィルハーモニー  
名曲コンサートVol.9

普段耳にする「名曲」から、隠れた「名曲」まで幅広くお届けする名曲コンサート。常任指揮者の加藤莞二氏と、気心の知れたオーケストラによる確かな技術と熱気に満ちた演奏が楽しみです。

指揮：加藤莞二  
ピアノ：泉マリ(ピアノソリストオーディション合格者)  
曲目：

- ・ムソルグスキー作曲  
「展覧会の絵」(ラヴェル編)
- ・チャイコフスキー作曲  
「ピアノ協奏曲第1番変ロ短調」

1月23日(日) 14:00

●自主企画 vol.105  
青年団「ソウル市民」

「日韓併合」を背景にソウルでの日本人一家を通して「悪意なき市民たちの罪」を描きます。この作品は、93年に全編韓国語によるソウル・ブサン公演を敢行、同劇団の代表作です。

3月10日(金) 19:30  
11日(土) 15:00/19:00  
12日(日) 15:00

3000円(3500円)  
学生 2500円 高校生以下 2000円



撮影：青木司

●AI・HALL 中学高校  
演劇フェスティバル2000

今年で5年目となる市内中学4校と高校4校が参加する演劇の祭典。

3月30日(木)  
31日(金)



前回フェスティバルより

ピックイヤー。競技する選手達の姿は私たちに大きな感動を与えてくれます。女子1万mでソウルオリンピックに出場した松野明美も小さな体で日本中を勇気づけてくれました。青春をかけて走り抜いた彼女の競技者としての人生経験を語ってもらいます。

2月6日(日) 14:00  
500円



一般 1000円  
高校生以下 500円  
\*全席自由

いたみホール

伊丹市宮ノ前1-1-3  
TEL. 0727-78-8788

●いたみホール美術企画  
インスタレーション  
「かくされた眼差し」  
木原 真男・谷口 新 二人展

ある空間に接して、感じることはひとりひとり違います。それはあなただけが投げかけた視点、伝えるための「かたち」にしなければほかの人にはみえない「かくされた眼差し」によってつくられています。そして「いたみホール」にむけられた眼差しも。いたみホールのさまざまな場、来館者が必ず通

私・空・感 another time another place

時 代 お くれ

深津篤史(劇作家・演出家/桃園会主宰)

アイホールの事業の一つに中高演劇ワークショップというのがありまして、95年から4年間、講師として関わらせていただきました。当時中学生だった連中も大学生になるわけで、なかなか感慨深いものがあります。

伊丹の中高生というのはどうも、世間一般のイメージからは異なるところがありまして、まあ、つまり、野暮ったいというか、田舎臭いというか、演劇部だからそうなのか、とも思うのですが。野太い声で「フカビー、一緒に弁当食いましょう」とか言っていた奴に、居酒屋で「深津さん、最近なんか遠いっすよお」(意味不明、注：女)って、からまれるほど、時が経ったということです。そのうち澄ました顔して「結婚しました」なんてハガキが届いたりするんだらうなあ。私はたぶん、その時も演劇を続けているだろうし、公演案内のDMハガキの山のなかからそれを見つけて、しみりしちやったりするわけだ。

このあいだ、名古屋に高校生のワークショップで行ってまいりました。伊丹よろしく、集まった連中はやっぱり野暮ったくて田舎臭くて気のいい奴らで、じゃいったい、世に言うコギャルってものは、どこに生息してるんだ? 演劇部だからそうなのか? それはつまり演劇は時代遅れってことなのか。まあいい。たぶん、そういうものだ。母校同志社のキャンパスで当時流行りのワンレン・ボディコンのねえちゃん達を眩しそうに見つめていたのは俺じゃないか。バブルの頃、ブランド物のスーツに身をつつんだ友人に将来を心配されたのも俺じゃないか。

来年、津軽で高校生のワークショップをやりま。トドメを刺されそうです。ホッとしている自分が想像できます。



Map showing locations of various venues in Idzumi City, including Ai Hall, Last Hall, Itami Hall, and various theaters and schools.

るガラス張りのエントランスロビー、あまり利用されない非常階段…等々。今回、二人のインスタレーション作家がいたみホールに投射した「かくされた眼差し」によってどのような「かたち」が生まれるか。映像、記号、あるいは…、多種多様な力をもってホールの共有空間を非日常の劇的空間に変えてしまいます。そこでは、ホール内を巡る来館者であるあなたは、自分自身の眼差しで解釈し、ストーリーをつくる創作者となります。ぜひ、いたみホールでのインスタレーションを体感し美術展の共演者になってみて下さい。

3月上旬 いたみホール館内にて  
\* 詳細についてはホールまでお問い合わせ下さい。後日案内を送付致します。

アイテム2000 vol.10 (通巻13号)  
2000年1月1日発行  
発行●(財)伊丹市文化振興財団  
〒664-0895 伊丹市宮ノ前1-1-3  
TEL 0727-78-8788 FAX 0727-78-8585  
編集●アイテム編集委員会  
デザイン●AIRS  
※次号アイテムvol.11は4月頃発行予定。

※文中の料金は、前売料金。( )内は当日料金です。

アイテム 2000 vol.10 文化情報紙 (財)伊丹市文化振興財団

いたみホール  
アイホール  
ラストホール  
伊丹アイフォニックホール

自主招聘企画第4弾!  
アイフォニック地球音楽シリーズNO. 68

日本文化の源流へ「笙の郷の舞姫たち」

<出演>中国貴州省ミャオ族伝統芸能団

伝統芸能が豊富なことで知られる中国ミャオ族。彼らの豊かな伝統芸能を、日常生活の中に伝承するそのままの姿でお届けします。



◆日本文化の源流一ミャオ族

米の国、日本。私たちの文化は、水稲耕作文化を源としています。紀元前5000年頃、古代中国の長江中、下流域で水稲耕作文化を興したのは、少数民族ミャオ族の祖先だと考えられています。同じ稲作文化が基盤になっているため、ミャオの人々の歳時記、そしてこれに関連した風俗、習慣、祭り、芸能などは、私たちのものと非常によく似ています。

従って、日本の音楽文化の起源を語るときにも、このミャオ族がよく登場します。例えば、男女が歌を交わしあう歌垣の風習、銅鑼の祭礼、笙の起源など。

中国には60近い少数民族が住んでいますが、その中で特にミャオ族が日本人に良く知られているのは、このような遠い昔からの深いつながりがあるからです。

◆ミャオのお祭りがやってくる!

今回待望の初来日となるミャオ族伝統芸能団は、ミャオの人々が最も集中して住んでいる貴州省凱里からやって来ます。凱里は沖縄と同緯度、平均標高1300メートルの起伏の多い山岳地帯で、その緑豊かな山懐に20~30軒からなる村

が点在しています。ひとつの村は同じ姓の親戚で構成されるため、結婚相手は他の村に限られます。若い男女の貴重な出会いの場は、いくつもの村から大勢が参加する祭り。その祭りの場で青年たちはミャオの代表的な楽器「笙」を奏で、着飾った乙女たちはそれぞれに合わせた踊ります。精一杯自分をアピールすることから恋が芽生え、結婚相手を見つけることになるのです。

◆絢爛たる舞姫と笙の名手たち

ミャオ族の絢爛豪華な衣装の美しさは、間違いなく世界のトップクラスですが、中でも乙女たちの装飾品は総重量10~20kgに及ぶほどの華やかさです。まばゆいばかりの銀冠、髪飾り、首輪、腕輪、全身を覆い尽くすかのような刺繍や花織り模様…。緑したたる山村で、愛らしい優雅さをたたえた乙女たちが踊る様は、宝石箱をまき散らした桃源郷を見るかのようなです。

乙女たちがおしゃれと踊りに精を出す一方、青年たちは笙の演奏に磨きをかけます。笙は笙類の原始の姿をとどめた楽器で、わが国の雅楽に伝承する笙の源流とされています。物心ついた頃から笙に親しんでいる名手たちの妙技は、乙女たちだけでなく観衆の視線を釘付けにします。

こうした出会いから、求愛、結婚に至るまでミャオの人々にとって音楽は欠かせません。笙など様々な楽器や歌に心を託して相手に届けるのです。

はるか昔から受け継がれてきた音楽や踊りには、ミャオの人々の心が詩情豊かに映し出されています。その清澄な旋律は、私たちの心に遠

い記憶を呼び覚ますかのような懐かしさをもたらすことでしょう。

3月9日(木) 19:00  
一般 3000円  
学生 2000円

(500円UP)\*全席自由  
\*当公演に連動した講演・ワークショップがあります。

アイフォニック民族文化サロン  
「話題の地球儀」NO. 79

「民族衣装に魅せられて」

伊丹アイフォニックホール

<講師> 浜井幸子(フリーライター)

2月14日(月) 19:00~20:30  
1500円(要電話予約)  
会場/小ホール1  
\*地球音楽シリーズNO.68と連動

アイフォニック・ワークショップNo.12

「中国の楽器—  
二胡・笛子の世界」

伊丹アイフォニックホール

実演・指導/ 櫻林(オーケストラ華夏芸術総監督)

2月27日(日)  
\*募集時期・参加費等は、あらためてお知らせします。  
\*地球音楽シリーズNO.68と連動

アイフォニック  
地球音楽シリーズNO.67

### 仏歯寺への信仰と熱気 ‘スリランカ・ ペラヘラ祭り’

伊丹アイフォニックホール

<出演>ギャミセワ民族舞踊団  
かつてはセイロンとして知られた、インド洋に浮かぶ島スリランカは、シンハラ語で「光り輝く島」を意味する美しい島です。そのスリランカ最後の王朝、キャンディ王朝時代に宮廷で踊られていたキャンディアン・ダンス。独特なドラムのリズムに合わせ、力強さと優美さを兼ね備えた舞いが繰り広げられます。豊作と伝染病の予防、治癒を願うスリランカ最大の祭り「ペラヘラ祭り」でも披露されるキャンディアン・ダンス、



今回はそのペラヘラ祭りの舞踊コンテストで2年連続「伝統舞踊最優秀賞」に輝いた、キャンディアン・ダンス界の最高峰、スーラセーナ氏率いるギャミセワ民族舞踊団の公演です。華麗な「ペラヘラ祭り」の再現をお楽しみください。

1月28日(金) 19:00  
一般 3000円  
学生 2000円  
(500円UP)\*全席自由  
\*当公演に連動した講演があります。

### アイフォニック民族文化サロン “話題の地球儀” NO.78

### 『知られていない スリランカの素顔』

伊丹アイフォニックホール

<講師>友岡圭介  
(アジア交流研究所所長)

1月17日(月)  
19:00~20:30  
1500円(要電話予約)  
会場/小ホール1



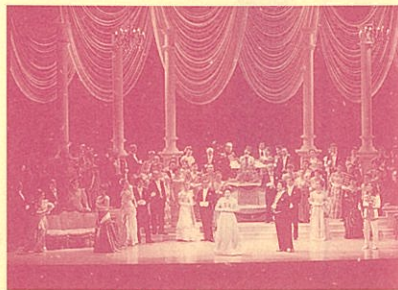
### 第14回伊丹市民オペラ W.A.モーツァルト 『魔笛』 (日本語・全二幕)

いたみホール

吹けばどんな猛獣をもうっとり魅了してしまうという魔法の笛。その不思議な音色をたよりに、王子タミーノと鳥刺し男パバゲーノは、夜の女王の娘パミーナが幽閉されているというザラストロの国に乗り込んでいく...

モーツァルト最後のオペラ『魔笛』は、寓話をもとに作曲されながらも、当時彼が傾倒したフリーメーソン(18世紀の啓蒙主義思想から生まれた自由・平和・友愛・人道などを旗印とした結社)の思想と音楽が色濃く反映されています。その精神は人間への愛と限らない成長を目指し、作品に深みを与えています。

市民による手作りオペラとしてスタートして、今年で第14回目を迎える伊丹市民オペラ公演。アットホームな雰囲気の中、モーツァルトの音楽の粋をお楽しみください。



第13回伊丹市民オペラ  
J・シュトラウスII「こらもり」より

指揮:加藤莞二  
演出:桂直久  
管弦楽:伊丹シティフィルハーモニー

3月26日(日) 14:00  
一般 3500円  
学生 2500円  
(500円UP)\*全席自由



### いたみ市民芸能祭

いたみホール

伊丹市民が主役です!バンドやカラオケ、踊りなど日頃の文化活動の成果を存分に発揮してもらい、1人でも多くの皆さんにいたみ

### 桂米朝一門会 「いたみ寄席 2000年初笑い」

いたみホール

笑うことが心に及ぼす好影響は想像以上に大きいようです。お笑いといえば落語、落語といえばやはりライブで。生で観る感激をぜひ味わって下さい。人間国宝の認定を受けた上方落語界の重鎮で、滅亡の危機に瀕していた戦後の上方落語を守り埋もれていた数々の斬を復活させた功労者でもある米朝。台詞の臨場感とリアリティが魅力的なごぼ。「痛快エブリディ」等テレビでもおな

ホールに来てもらい、温かい声援と拍手がいただければと願っています。

カラオケ部門 1月30日(日)  
バンド・アンサンブル部門 3月4日(土)  
一般芸能部門 3月5日(日)  
時間未定、入場無料



じみの南光。

その他にもごろう、米輔、米八など個性あふれる豪華な一門メンバーが出演します。演目は当日のお楽しみ!

1月12日(水) 18:30  
S席(1階席) 3000円  
A席(2階席) 2500円  
(各500円UP)  
\*全席指定



### 人形劇 「14ひきのひっこしだ」

ラスタホール

「14ひきの“のねずみ”のかぞくがひっこしだ。もりのおくめがして、さあしゅっぱつ!」

人気作家いわむらかずおの絵本「14ひきシリーズ」の中の「ひっこし」を脚色した作品。ひたむきに生きる14ひきの小さなねずみの家族を愛情深く描いた作品は、自然の中のこと、家族のつながりなどを深い感動としてやさしく語りか

け感じさせてくれます。みんなでねずみたちのあたらしいうちに遊びに行きませんか。

3月25日(土) 14:00  
一般 1500円(1800円)  
子ども(3歳以上小学生以下) 800円(1000円)  
セット券(一般・子ども各1人) 2000円(2500円)

### 第4回 ラスタ生涯学習 フェスティバル

ラスタホール

まだまだ寒い季節ですが、もうすぐやってくる春に向けて、新しい出会いを探してみませんか?ラスタホールでは、ここで活動する同好会のフェスティバルを行います。展示、ステージ発表会、実演講習会など日頃の活動の成果を見たり、一緒に体験したりと、会員以外の皆様にも楽しんでいただけるイベントです。同時に会員募集も行っております。何か新しいことをはじめるきっかけに、ラスタホールへ足をはこんでみませんか。

展示(2月3日~23日)  
3~5日:藤彩会(水彩画)  
6~9日:ラスタ木彫同好会  
仏画同好会「伊丹東寿会」  
10~12日:楽山会「実用書道」  
楽しいパッチワークの会  
13~16日:アイディア料理同好会  
陶芸同好会  
ステンシル同好会  
17~19日:墨象同好会「ラスタの友」  
ドールハウスサークル  
20~23日:日本画同好会  
アフガン編み同好会

ステージ発表(2月19日10:30~)  
カラオケ\*昭和こだま会  
\*カラオケ同好会「つばさ」  
\*さつきカラオケ同好会  
\*サークルすずめの会  
いたみ銭太鼓 綾の会  
吟詠サークル睦月  
スポーツダンス「フレンド」(社交ダンス)  
ラスタハーモニカエコーズ

ションを設立した磯村一路監督が、美しい自然と豊かな人間関係を静かに見すえ、情感溢れる映像で映画化した珠玉の名作です。

3月5日(日) 10:00/14:00  
一般 800円(1000円)  
高校生以下及60歳以上 600円(800円)



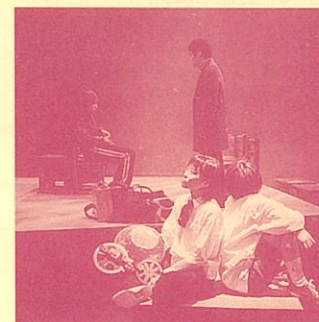
第2期生公演より

ラスタ映画倶楽部

### 「がんばって いきまっしょい」 ('98.日本)

ラスタホール

松山市主催の第4回「坊ちゃん文学賞」大賞受賞作を原作に、普通の女子高校生5人がボート競技にゼロから挑戦する姿をみずみずしく描いた作品。ともすれば、ありふれたスポーツ根性ものにおちいりそうなストーリーを、「Shall weダンス?」の周防正行監督らとプロダク



第2期生公演より

青春群像を描きます。2つのグループが互いに役者・スタッフを交代しながら、公演が行われます。この1年間の彼らの《収穫》をご覧あれ。

2月25日(金) 19:30  
26日(土) 14:00/19:30  
27日(日) 14:00  
1500円(1800円)  
学生 1300円  
中高生 1000円

ダンスコレクション10周年記念企画

### ジョセフ・ナジ カンパニー 『ヴォイツェック -あるいは目眩の気配』

アイホール

旧ユーゴスラビア出身の振付家・ダンサーで、現在はフランス国立オルレアン振付センターのディレクターであるジョセフ・ナジ。'87年、彗星のごとく現代ダンス界に登場した彼は、既成のダンスという概念を大きく打ち破る、衝撃的なパフォーマンスでデビューしました。『ヴォイツェック』は、実際の事件に基づいて書かれた、ヨーロッパで非常に有名な戯曲です。貧しい兵士・ヴォイツェックが、内縁の妻マリーの不倫をきっかけ

に、幻覚に悩み、あげく彼女をナイフで惨殺する…。これを彼は、全くせりふのないパフォーマンスとして創りあげました。舞台では、死とエロス、ユーモアとグロテスクが混在した、ファンタジーと悪夢が入り交じった夢幻の宇宙が繰り広げられます。アヴィニヨン・フェスティバルで絶賛を受けた代表作をかかえて、奇才ジョセフ・ナジが関西初上陸。

2月16日(水) 19:30  
17日(木) 19:30  
4500円(5000円)  
学生 3000円(要学生証提示)



撮影:Lajos Somlasi

\*学生チケットの方は、一般券の方のご入場の後となりますので、予めご了承下さい。



前回公演より

### 岩下徹ダンス ワークショップ公演 「ダンス以前からダンスへ」vol.3

アイホール

昨年に引き続き、今年も公演を前提とした連続ワークショップをスタート。岩下徹のナビゲートのもと、参加者自身が計30回のワークショップを通して、それぞれが自分のダンスを発見し、創造していきます。ダンス経験の有無や、年齢、動機など様々なダンサーの「ダンス」がよいよ立ち上がります。3月中旬予定

### アイホール演劇ファクトリー 第3期生《収穫》公演

### 『春の音、曇天 。をつけてみる』

アイホール

アイホールで開講している演劇ファクトリーも、今年で3年目を迎えます。第一線で活躍する演劇人たちに講師を迎え、演技のみならず、音響、照明、美術など「芝居のイロハのイ」から総合的に演劇を学び、1年間の集大成として卒業公演を実施します。今年は第42回岸田戯曲賞を受賞した深津篤史(桃園会主宰)が、新作を書き下ろします。保養所に合宿にやってくる大学の演劇部員たちを通して、90年代の

※文中の料金は、前売料金。( )内は当日料金です。